

授業科目	英語Ⅱ		
担当者名	秋山 俊介	実務経験	
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	外国人観光客をはじめ、日本で仕事をする外国人が増加し、病気やけがで病院を訪れ、医療が必要となる外国人が増えている。そのため将来医療従事者として働く際に必要となる基本的な英会話を学び、外国人の患者との円滑なコミュニケーションが図れるようにする。さらに、臨床看護英語を活用することで、患者の正確な情報を収集し、看護専門職者として異なる文化や価値観を持つ人とも、考えや気持ちを伝えあおうとする姿勢を養う。		
授業科目の到達目標	1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】 Welcoming a Patient 患者を迎える		秋山 俊介
2	【講義・演習】 Taking Vital Signs バイタルサイン測定		秋山 俊介
3	【講義・演習】 Feeling So Sick! 症状		秋山 俊介
4	【講義・演習】 Medical Departments 診療科目		秋山 俊介
5	【講義・演習】 Personal Care 日常生活援助		秋山 俊介
6	【講義・演習】 Giving Medication to a Patient 与薬		秋山 俊介
7	【講義・演習】 Review & Medical Reading まとめと医学英文読解		秋山 俊介
8	【試験】		内部教員

テキスト	Speaking of Nursing (南雲堂) ISBN: 9784523178507	
参考書		
成績評価の方法	授業への参加態度、貢献度、課題提出、筆記試験による総合評価	
その他、受講生への要望など	受講の心得は初回ガイダンス時に説明します。	

授業科目	リハビリテーション論		
担当者名	栃木県立リハビリテーションセンター 糸井将貴・渡辺美和子・内山佳信	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	リハビリテーションはラテン語で、re(再び)+habilis(適する)から成り立っている。リハビリテーションは単なる機能回復ではなく、障害に関わらず「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」が重要とされており、そのために行われる技術や支援など、すべての活動や考え方のことを指す。本科目ではリハビリテーションの概念を理解するとともに、対象となる代表的な疾病、また疾病により起こる障害の特性、リハビリテーションの実際や環境調整、福祉用具の利用について学修する。		
授業科目の到達目標	1. リハビリテーションの概念・歴史、関連専門職の役割・連携、対象中心の医療について説明する。 2. 疾患別の障害の把握や対応方法について説明する。 3. 各疾患のリハビリテーションプログラムの立案方法を説明する。 4. 基本的な検査測定（関節可動域測定、筋力測定）ができる。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 リハビリテーション概論 ・ リハビリテーションの概念・定義 ・ リハビリテーションにおけるチーム医療 ・ リハビリテーション実践の場 ・ 障害の概念・定義		糸井将貴
2	【講義】 ステージ別リハビリテーション ・ 経過別リハビリテーション ・ 発達段階別リハビリテーション		糸井将貴
3	【講義・演習】 リハビリテーションの実際 ・ 理学療法士の役割 ・ 整形外科疾患に対する理学療法（運動機能障害） ・ 関節可動域、筋力測定（演習） ・ 自動運動・他動運動（演習）		糸井将貴
4	【講義・演習】 リハビリテーションの実際 ・ 作業療法の定義（総論） ・ 脳血管疾患に対する作業療法		渡辺美和子
5	【講義・演習】 リハビリテーションの実際 ・ 高次機能障害に対する作業療法 ・ 自助具を考えてみよう（ソックスエイド作成） ・ 整形外科疾患に対する作業療法	事後課題 ソックスエイド適応と適応しにくい患者	渡辺美和子
6	【講義・演習】 リハビリテーションの実際 ・ コミュニケーション障害について（失語症・構音障害）		内山佳信
7	【講義・演習】 リハビリテーションの実際 ・ 摂食・嚥下障害		内山佳信
8	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	配点 1 0 0 点（糸井先生：40点・内山先生：30点・渡辺先生：筆記試験20点・レポート10点）		
その他、受講生への要望など			

授業科目	臨床検査		
担当者名	高嶋浩一・太田浩史・織田豊	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	医学の発展に伴い医療分野では多くの検査が実施され、診断や治療方針を決定するための重要な役割を果たしている。また現代では治療や処置の効果が科学的に証明され根拠に基づいて医療が実践されるようになった。そのためすべての医療職が検査の意義や目的を理解し検査データを解釈できることが望ましい。そこで本科目では、検査は何のために行われ、どのような方法で実施されているのか、検査内容と疾患のつながり、検査データ・画像のみかた、また各種医療機器の取り扱い等の基礎知識を修得することを目的とする。		
授業科目の到達目標	1. 臨床検査の意義や検査値について説明する。 2. 検査における看護師の役割を説明する 3. 検査内容と疾患のつながりを説明する。 4. 臨床検査の流れ・準備、測定値に影響を与える因子を説明する。 5. 適切な検体の採取・保存・移送法、感染予防について説明する。 6. 検査結果等の守秘義務について説明する。 7. X線、CT、MRIのみかたを理解する。 8. 各種医療機器の取り扱いを理解する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】臨床検査の基礎 ・臨床検査とその役割、検査に伴う危険と防止、検査結果の取り扱い		高嶋 浩一
2	【講義】おもな臨床検査		高嶋 浩一
3	【講義】おもな臨床検査		高嶋 浩一
4	【講義】臨床検査における看護師の役割 ※検体の取り扱い、検査の介助、放射線の被ばく防止策含む検体の取り扱い、検査の介助含む		太田 浩史
5	【講義】X線・CT・MRI検査 ・特徴、画像のなりたち、検査の実際		太田 浩史
6	【講義】内視鏡検査による診断と治療		渡邊 美紀子
7	【講義】内視鏡検査の実施と注意事項		渡邊 美紀子
8	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点100点（高嶋先生：40点、太田先生：30点、渡邊先生：30点）		
その他、受講生への要望など	看護師が検査場面に関わることは非常に多いです。基本的な理解をはぐぐんでください。（太田）		

授業科目	病態生理		
担当者名	太田 浩史	実務経験	○
年次	2 年次	学期	前期
単位	1 単位	時間数	30時間
授業科目の概要	解剖生理学で学習した正常な生理学の知識を基に、疾病や症状・徴候の発生要因と過程を学習する。		
授業科目の到達目標	1. 身体の正常な機能と、病態を理解する。 2. 症状・兆候のメカニズムを理解する。 3. 病態の知識を看護に活かす方法が分かる。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】疾病の成り立ちに関与する因子 オリエンテーション【講義の進め方】		太田 浩史
2	【講義・演習】肺の悪性腫瘍① 個人テスト・ミニ講義・アピールタイム	事前課題 肺の解剖生理・肺がんに関し て	太田 浩史
3	【講義・演習】肺の悪性腫瘍② 事例の身体に起こっていることを理解する（病態関連図）		太田 浩史
4	【講義・演習】肺の悪性腫瘍③ 病態関連図チーム発表(パワーポイントで)		太田 浩史
5	【講義・演習】肝硬変① 個人テスト・ミニ講義・アピールタイム	事前課題 肝臓の解剖生理・肝炎に関し て	太田 浩史
6	【講義・演習】肝硬変② 事例の身体に起こっていることを理解する（病態関連図）		太田 浩史
7	【講義・演習】肝硬変③ 病態関連図のチーム発表(パワーポイントで)		太田 浩史
8	【講義・演習】心臓の循環障害① 個人テスト・ミニ講義・アピールタイム	事前課題 心臓の解剖生理・心筋梗塞に 関して	太田 浩史
9	【講義・演習】心臓の循環障害② 事例の身体に起こっていることを理解する（病態関連図）		太田 浩史
10	【講義・演習】心臓の循環障害③ 病態関連図のチーム発表		太田 浩史
11	【講義・演習】脳の循環障害① 個人テスト・ミニ講義・アピールタイム		太田 浩史
12	【講義・演習】脳の循環障害② 事例の身体に起こっていることを理解する（病態関連図）	事前課題 脳神経解剖生理・脳血管障害 に関して	太田 浩史
13	【講義・演習】脳の循環障害③ 病態関連図のチーム発表		太田 浩史
14	【講義・演習】内分泌の障害① 個人テスト・ミニ講義・アピールタイム	事前課題 内分泌代謝の解剖生理・糖尿 病に関して	太田 浩史
15	【講義・演習】内分泌の障害② 事例の身体に起こっていることを理解する（病態関連図）		太田 浩史

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [2] 病態生理学		
参考書			
成績評価の方法	個人テスト配点：50点・グループワーク評価：50点		
その他、受講生への要望など	アクティブラーニングの授業となります。与えられた課題を積極的に解決して自分の力としていきましょう。また、グループで活動することが増えます。グループメンバーと協調してください。		

授業科目	公衆衛生		
担当者名	佐々木 祥代	実務経験	○
年次	2 年次	学期	前期
単位	2 単位	時間数	3 0 時間
授業科目の概要	公衆衛生学の概念と仕組みを学ぶ。環境諸要因が個人・集団の健康あるいは社会生活に及ぼす影響について理解を深め、疾病の予防や健康増進へのアプローチの方法等、保健予防・医療に関する知識を習得する。公衆衛生活動の様々な実践活動を学び、人々の健康を守るための組織、器官及び医療従事者の役割や機能への理解を深める。		
授業科目の到達目標	1. 公衆衛生の定義と意義を説明できる。 2. 健康指標を理解し、集団と個人の健康課題について述べられる。 3. 健康課題に適した保健医療福祉サービス制度を述べられる。 4. 公衆衛生において看護職者の担う役割について述べられる。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】公衆衛生の歴史と公衆衛生を学ぶ意義 ①プライマリヘルスケア ②ヘルスプロモーション		佐々木 祥代
2	【講義】公衆衛生の活動対象 ①個人と社会集団 ②看護職の公的責任と役割 ③社会集団の見方ととらえ方		佐々木 祥代
3	【講義】公衆衛生の仕組み ①法律と政策 ②国と地方自治体そして専門職の役割		佐々木 祥代
4	【講義】保健統計と疫学 ①集団の健康状態を把握するための指標 ②原因分析と対策		佐々木 祥代
5	【講義】環境と健康 ①地球環境と健康への影響 ②身の回りの環境と健康への影響（生活環境・居住環境・食品の安全） ③日本の環境行政		佐々木 祥代
6	【講義】感染症とその予防対策 ①感染症法と感染症予防対策 ②主な感染症と対策		佐々木 祥代
7	【講義】母子保健 ①対象となる人々 ②仕組み（法制度・システム） ③活動内容		佐々木 祥代
8	【講義】成人保健 ①対象となる人々 ②仕組み（法制度・システム） ③活動内容		佐々木 祥代
9	【講義】高齢者保健 ①対象となる人々 ②仕組み（法制度・システム） ③活動内容		佐々木 祥代
10	【講義】精神保健 ①対象となる人々 ②仕組み（法制度・システム） ③活動内容		佐々木 祥代
11	【講義】歯科保健 ①対象となる人々 ②仕組み（法制度・システム） ③活動内容		佐々木 祥代
12	【講義】障害者保健・難病保健 ①対象となる人々 ②仕組み（法制度・システム） ③活動内容		佐々木 祥代
13	【講義】学校保健 ①対象となる人々 ②仕組み（法制度・システム） ③学校保健の展開		佐々木 祥代
14	【講義】産業保健 ①対象となる人々 ②仕組み（法制度・システム） ③産業保健の課題と看護師の役割		佐々木 祥代
15	【試験】筆記試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 公衆衛生 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点：100点		
その他、受講生への要望など			

授業科目	関係法規		
担当者名	佐藤 和男	実務経験	○
年次	2年次	学期	後期
単位	2単位	時間数	30時間
授業科目の概要	看護職はその職務上、多くの法規に関係しており、看護サービスの提供においては、基盤となる法規および関係法規を理解することが不可欠である。そこで、看護職として基盤となる法規および関連法規について理解し、看護職として正しく職務を遂行するための根拠や判断基準として習得する。		
授業科目の到達目標	1. 看護に関係する法規を理解する。 2. 法の仕組みや厚生行政について理解し、保健・医療・福祉に関する法規について説明する。 3. 学習した法規をもとに、看護職としての職務を遂行するための根拠や判断基準を説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】法の概念		佐藤 和男
2	【講義】保健師助産師看護師法		佐藤 和男
3	【講義】医療法		佐藤 和男
4	【講義】医療関係資格法		佐藤 和男
5	【講義】医療を支える法		佐藤 和男
6	【講義】地域保健法/精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		佐藤 和男
7	【講義】学校保健安全法/個別基本法		佐藤 和男
8	【講義】感染症に関する法		佐藤 和男
9	【講義】食品に関する法/環境衛生法		佐藤 和男
10	【講義】薬務法①		佐藤 和男
11	【講義】薬務法②		佐藤 和男
12	【講義】労働法と社会基盤整備①		佐藤 和男
13	【講義】労働法と社会基盤整備②		佐藤 和男
14	【講義】環境法		佐藤 和男
15	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔4〕看護関係法令 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点 1 0 0 点		
その他、受講生への要望など			

授業科目	社会福祉Ⅱ		
担当者名	伊藤 典子	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	現代社会における社会問題や生活課題を取り上げ、福祉制度の意義や理念、様々な福祉領域の制度政策、実践方法にはどのようなものがあるのかなどについて基本的な学びを深める。さらにこれからの福祉のあり方についても考察することで、保健医療福祉分野での看護職としての役割、社会福祉との関わり方について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 現代社会の課題と地域社会の中での社会福祉の役割を説明する。 2. 生活支援の基本姿勢や個別の相談援助技術と地域援助技術の役割とそのつながりについて理解する。 3. 社会保障・社会福祉の制度やそれを担う体制を知ること、臨床現場で必要とされる多職種と連携するための基礎的知識を身につける。 4. 保健福祉医療分野での自身の専門職役割や専門性について考察する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】社会福祉の理念と変遷		伊藤典子
2	【講義】高齢者福祉		伊藤典子
3	【講義】障害者福祉		伊藤典子
4	【講義】児童家庭福祉		伊藤典子
5	【講義】社会福祉援助		伊藤典子
6	【講義・演習】社会福祉援助の検討課題		伊藤典子
7	【講義・演習】社会福祉実践と医療・看護との連携		伊藤典子
8	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔3〕社会保障・社会福祉 医学書院
参考書	ケースワークの原則 誠信書房・社会保障入門2023 中央法規 他
成績評価の方法	筆記試験 配点100点
その他、受講生への要望など	可能な範囲で1年次の復習をした上で、授業に臨んでください。

授業科目	チーム医療論		
担当者名	星 有希子	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	チーム医療や多職種連携のメンバーであるために必要なことは、チームを組む他職種に対する深い理解である。自身の職種と他職種の役割や専門性を理解して初めて、相互の協働作業である「チーム医療」を円滑に進めることができる。この科目では医療・福祉関連の職種がチーム医療の中でどのような役割を担うのかを考える。		
授業科目の到達目標	1. 看護師の役割、専門性を説明する 2. 他職種の役割と専門性を知る		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】オリエンテーション 看護の役割・専門性について理解する チーム医療の定義・目的・効果 チーム医療の実際とチームないでの看護師の役割	課題レポート	星 有希子
2	【講義】他職種の理解 救急救命士の職種、役割、専門性を理解する		富樫 伸治
3	【演習・講義】他職種の理解 1. 他学科の学習内容・方法を知る 救急救命士の講義、演習の見学		富樫 伸治
4	【講義】他職種の理解 介護福祉士の職種、役割、専門性を理解する		石川 幸子
5	【演習・講義】他職種の理解 1. 他学科の学習内容・方法を知る 介護福祉士の講義・演習の見学		荒井 るり子
6	【講義】他職種の理解 臨床工学技士の職種、役割、専門性を理解する		織田 豊
7	【演習・講義】他職種の理解 1. 他学科の学習内容・方法を知る 臨床工学技士の講義・演習の見学		織田 豊
8	【演習】 各科の講義と講義見学を経験し、それぞれの職種の役割、類似点、相違点、連携・協働に必要なことについてディスカッションを行う (グループワーク)	グループワーク 課題レポート	星 有希子

テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学1 成人看護学総論 医学書院
参考書	
成績評価の方法	・課題レポート
その他、受講生への要望など	多職種との協働について考える講義です。演習において、多くの仲間とのグループワークを経験し、専門職について考えを深めましょう。

授業科目	看護理論		
担当者名	鈴木美津枝	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	自身の興味関心のある看護について省察し、文献から知見を得る。また、看護における現象をより明確で具体的に説明するための枠組みである看護理論を学修することができる。		
授業科目の到達目標	1. 看護実践への課題や疑問の解決につながる文献・情報の収集方法を説明する。 2. 文献・情報を読み解き、整理し、理解した内容を説明する。 3. 看護理論の概要と看護実践に活用する必要性について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	文献について	コースのオリエンテーションを受け、科目の学習内容がわかる。文献の定義と役割などを学習する。	鈴木美津枝
2	文献レビューについて	文献レビューについて学習する。	鈴木美津枝
3	興味・関心のあるテーマについて	自身の興味・関心のある健康・人間・環境に関する課題について、自身のテーマ（看護師になろうと思った経験など）を提示して発表する。自身が提示したテーマをもとに、課題と文献検索を行うためのキーワードを見いだす。	各グループ担当教員
4	文献検索の実際	実際に文献検索を行い、検索方法がわかる。	鈴木美津枝
5	文献の読み方について	資料の種類と構造について学習し、収集した文献・情報の整理方法と口頭発表の方法について学習する。	鈴木美津枝
6	検索した文献に関するグループ討議	関心あるテーマに関して調べた文献・情報をもとに、研究成果の収集方法と読み解いた内容について、発表資料を作成し討議する。	各グループ担当教員
7	検索した文献に関するグループ討議	関心あるテーマに関して調べた文献・情報をもとに、研究成果の収集方法と読み解いた内容について、発表資料を作成し討議する。	各グループ担当教員
8	検索した文献に関するグループ討議	関心あるテーマに関して調べた文献・情報をもとに、研究成果の収集方法と読み解いた内容について、発表資料を作成し討議する。	各グループ担当教員
9	【講義】オリエンテーション 看護理論とは 理論の発達の背景、 理論の種類（ナイチンゲール・オレム・ヘンダーソン・ロイ・トラベルビーなど）		鈴木美津枝
10	【演習】 理論と看護実践への活用の紹介		鈴木美津枝
11	【演習】 理論を1つ選び、グループ内で検討して発表資料作成	理論を1つ選び、グループ内で検討して発表資料作成する。	鈴木美津枝
12	【演習】 理論を1つ選び、グループ内で検討して発表資料作成	理論を1つ選び、グループ内で検討して発表資料作成する。	鈴木美津枝
13	【演習】 理論を1つ選び、グループ内で検討して発表資料作成	理論を1つ選び、グループ内で検討して発表資料作成する。	鈴木美津枝
14	【演習】 理論を1つ選び、グループ内で検討して発表資料作成	理論を1つ選び、グループ内で検討して発表資料作成する。	鈴木美津枝
15	【演習】 グループ内で検討してした理論について全体発表		鈴木美津枝

テキスト	医学書院 系統看護学講座 専門分野 看護学概論 看護研究		
参考書			
成績評価の方法	発表資料、プレゼンテーション、参加態度、レポート		
その他、受講生への要望など	自身の興味関心のあるテーマを提示し、文献・情報を収集し、読み解き、整理した内容を他者へ説明ができるようになってほしいです。また、いろいろな看護理論に触れ、看護における現象をより明確で具体的に説明するための枠組みである看護理論を学んでほしいです。文献や参考書等をよく読み、より深いグループワークが行えるように取り組みましょう。		

授業科目	基礎看護学実習Ⅲ（看護過程の展開）		
担当者名	星 有希子	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期（7月）
単位	2単位	時間数	90時間
授業科目の概要	対象を理解し、看護過程の展開と臨床判断につながる基礎的能力を養う。また、原則を踏まえ、安全・安楽な看護実践能力を養う。		
授業科目の到達目標	1. 身体的・心理的・社会的側面の情報をアセスメントすることで、患者が置かれている状況と患者に影響をおよぼしているものを理解する。 2. 日々の援助を患者の思考を用いて根拠を持って実践する。 3. 患者の状況に応じた看護技術を提供できる。 4. 得られた情報をアセスメントし、看護上の問題を見いだすことができる。 5. 患者の看護上の問題を解決するための看護計画が立案できる。 6. 看護師と他職種の連携や機能がわかる。 7. 対象との関わりを通して、専門職者として必要な態度を身に着けることができる。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【学内6h】オリエンテーション、自己学習など		星 有希子
2	【病棟8h】病棟オリエンテーション、情報収集、受け持ち患者のバイタルサイン測定	実習要項に準じる	星 有希子
3	【病棟8h】受け持ち患者の看護（バイタルサイン測定、清潔の援助、移動介助等）コミュニケーション 情報の整理 観察	実習要項に準じる	星 有希子
4	【病棟8h】受け持ち患者の看護（バイタルサイン測定、清潔の援助、移動介助等）コミュニケーション 情報の整理 観察 充足・未充足の判断 援助の方向性	実習要項に準じる	星 有希子
5	【病棟8h】受け持ち患者の看護（バイタルサイン測定、清潔の援助、移動介助等）コミュニケーション 情報の整理 観察	実習要項に準じる	星 有希子
6	【病棟8h】受け持ち患者の看護（バイタルサイン測定、清潔の援助、移動介助等）コミュニケーション 情報の整理 観察	実習要項に準じる	星 有希子
7	【病棟8h】受け持ち患者の看護（バイタルサイン測定、清潔の援助、移動介助等）コミュニケーション 情報の整理 観察	実習要項に準じる	星 有希子
8	【学内6h】ヘンダーソン14項目に沿って情報を整理と分析 充足・未充足の判断、分析	実習要項に準じる	星 有希子
9	【学内6h】情報の整理、アセスメント 看護問題の抽出 優先順位	実習要項に準じる	星 有希子
10	【学内6h】看護計画立案	実習要項に準じる	星 有希子
11	【学内6h】看護計画立案	実習要項に準じる	星 有希子
12	【学内6h】個人記録最終まとめ 報告会準備	実習要項に準じる	星 有希子
13	【学内4h】実習報告会	実習要項に準じる	星 有希子

テキスト	特に指定しない	
参考書		
成績評価の方法	実習評価表に準じる	
その他、受講生への要望など	この実習では、コミュニケーションやアセスメントから、患者を深く理解することと患者が必要としている看護を見いだしていきます。また、基礎看護技術で学んできた日常生活援助を行い、より患者に適した援助を根拠をもって実践していく能力を養い今後の領域実習につなげていきます。既習の知識や技術を活用して目標達成に向けて頑張りましょう。また、自己の心身の管理を行い、医療チームの一員として責任ある行動がとれるよう努めましょう。 尚、本科目の単位修得が、領域別実習履修の前提条件となります。	

授業科目	地域・在宅看護支援論Ⅱ		
担当者名	秋澤 きみよ 加藤 明美 青柳 勝男	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	本科目では、地域全体を支える看護やケアのしくみを理解するとともに、地域で暮らす人々とその家族に看護を提供する際に必要な支援の基本とその根拠を修得する。		
授業科目の到達目標	1. 地域・在宅看護の実践に関連した法制度を説明できる。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 (介護保険制度)		秋澤 きみよ
2	【講義・演習】地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 (活動の実際)		看護師 加藤 明美
3	【講義・演習】地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 (活動の実際)		青柳 勝男
4	【講義・演習】地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 (介護保険制度・医療保険制度)		秋澤 きみよ
5	【講義・演習】地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 (訪問看護の制度)		秋澤 きみよ
6	【講義・演習】地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 (訪問看護の制度、地域保健にかかわる法制度・高齢者に関する制度)		秋澤 きみよ
7	【講義・演習】地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 (障害者・難病に関する法制度・公費負担医療、権利保障に関する制度)		秋澤 きみよ
8	【試験】		秋澤 きみよ

テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔1〕地域・在宅看護の基盤（第6章）医学書院
参考書	基礎からわかる地域・在宅看護論 プチナース 照林社 国民衛生の動向・厚生指針 一般財団法人 厚生労働統計協会
成績評価の方法	筆記試験（80％）・課題レポート（20％）
その他、受講生への要望など	看護を提供するためには必ず制度が関係しています。苦手意識が大きいところかと思いますが、対象者を支えるとても大切な内容になりますので、しっかり学習して欲しいと思います。

授業科目	地域・在宅看護支援論Ⅲ		
担当者名	秋澤 きみよ 佐々木 崇文 和久井 大輔	実務経験	○
年次	2年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	地域・在宅看護には、生活の場での個別の対象者への支援と地域への支援の視点を兼ね備えた技術が必要である。本科目の目的は、地域・在宅看護実践特有の生活と健康を支える援助技術を修得する。		
授業科目の到達目標	1. 家庭訪問の特徴やプロセスならびに必要な技術を説明する。 2. 療養者・家族との相談・教育ならびにケアチーム内でのコミュニケーションの特徴と技術を説明する。 3. 暮らしにおける療養環境整備、活動・休息、食事、排泄、清潔に関する生活支援技術と医療ケア技術を身につける。 4. 呼吸・循環管理や褥瘡管理、与薬に関する医療ケア技術を身につける。 5. 生活上の事故を防止し、地域・在宅看護実践に伴うリスクの特徴を理解し、必要なリスクマネジメントを説明する。 6. 地域・在宅における看取りの技術を説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】家庭訪問の特徴,ケアチームのコミュニケーションの実際		看護師・保健師 佐々木 崇文
2	【講義・演習】地域・在宅看護における療養環境整備		佐々木 崇文
3	【講義・演習】暮らしにおける活動・休息の援助		佐々木 崇文
4	【講義・演習】在宅での食事・栄養の援助		佐々木 崇文
5	【講義・演習】暮らしにおける排泄の援助		佐々木 崇文
6	【講義・演習】暮らしにおける清潔・衣生活の援助		佐々木 崇文
7	【講義・演習】暮らしにおける呼吸・循環とその援助		佐々木 崇文
8	【講義・演習】呼吸・循環における医療管理レベルの高い療養者の援助		佐々木 崇文
9	【講義・演習】褥瘡の予防とケア		佐々木 崇文
10	【講義・演習】褥瘡の予防とケア		佐々木 崇文
11	【講義・演習】テープ類による皮膚トラブル/スキン-ケアの予防		佐々木 崇文
12	【講義・演習】与薬に関する地域・在宅看護技術		佐々木 崇文
13	【講義・演習】療養者の暮らしを取り巻くリスクと安全対策		佐々木 崇文
14	【講義・演習】地域・在宅看護における看取りの支援,死の看取りの技術		佐々木 崇文
15	【試験】		秋澤 きみよ

テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕地域・在宅看護の実践（第2章）医学書院
参考書	看護がみえる vol.1 臨床看護技術 メディックメディア 看護がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア
成績評価の方法	筆記試験（80％）・課題レポート（20％）
その他、受講生への要望など	科学的根拠をもとに、対象者の個性を踏まえ、地域・在宅看護実践特有の技術を身につけるために自ら積極的に学ぶ姿勢を忘れずに取り組んで下さい。

授業科目	地域・在宅看護支援論Ⅳ		
担当者名	秋澤きみよ・月永洋介・越川智美・根小屋光江 水上美穂・齋藤名歩・大塚れんげ・大島美沙子 伊藤悦子・秋山美香	実務経験	○
年次	2年次		後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	地域・在宅看護の対象者は、すべての年代の多様な健康課題のある人々やそのリスクの高い人々、療養者とその家族である。本科目では、各健康課題の在宅療養移行期、安定期、リハビリテーション期、急性増悪期など病期に応じた看護支援を学ぶ。また、地域・在宅看護にて重要な健康課題を理解し、対象者の状態に応じた根拠に基づく看護援助の方法と各健康課題からみたケアシステムの基本を修得する。		
授業科目の到達目標	1. 外来受診、入院、退院、在宅療養、終末期までのさまざまな時期の地域・在宅看護について説明する。 2. 糖尿病、慢性腎不全、慢性心不全、慢性呼吸不全、がん慢性・終末期の療養者に必要な看護援助と社会資源を説明する。 3. 在宅療養の中で生活不活発病が起こる機序を理解し、生活不活発病予防に必要な看護援助と社会資源を説明する。 4. 脳神経疾患療養者のためのケアシステムを理解し、地域で暮らす脳神経疾患療養者に必要な看護援助と社会資源を説明する。 5. 精神障害者のためのケアシステムを理解し、地域で暮らす精神障害者に必要な看護援助と社会資源を説明する。 6. 難病療養者のためのケアシステムを理解し、成人期・小児期の難病療養者に必要な看護援助と社会資源を説明する。 7. 末期がんと非がん療養者のエンド・オブ・ライフケアの特徴を理解し、必要な看護援助と社会資源を説明する。 8. 多様な健康問題や心理社会的問題を併存し、支援が難しい複雑困難事例に必要な看護援助と社会資源を説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】地域・在宅における時期別の看護		秋澤 きみよ
2	【講義・演習】地域・在宅における時期別の看護		秋澤 きみよ
3	【講義・演習】地域・在宅看護における多職種連携・他職種チームでの協働 訪問診療の実際		医療法人賛永会 理事長 在宅医療専門医・指導医 月永 洋介
4	【講義・演習】地域・在宅看護と慢性疾患管理の理解		さつきホーム クリニック 診療同行看護師 越川 智美
5	【講義・演習】地域・在宅看護と慢性疾患管理の実際1：糖尿病と慢性腎不全		さつきホーム クリニック 副院長 看護部長 根小屋 光江
6	【講義・演習】地域・在宅看護と慢性疾患管理の実際2：慢性心不全と慢性呼吸不全		さつき訪問看護 ステーション 慢性心不全看護認定看護師 水上 美穂
7	【講義・演習】地域・在宅看護と慢性疾患管理の実際3：がん慢性・終末期		さつき訪問看護 ステーション がん看護専門看護師 齋藤 名歩
8	【講義・演習】地域・在宅看護と生活不活発病予防とケアの実際		さつきホーム クリニック 診療同行看護師 大塚 れんげ
9	【講義・演習】地域・在宅看護と脳卒中療養者のケア		さつきホーム クリニック 副院長 看護部長 根小屋 光江
10	【講義・演習】地域・在宅看護とパーキンソン病の療養者のケア		さつき訪問看護 ステーション 所長 大島 美沙子
11	【講義・演習】地域・在宅看護と統合失調症の療養者のケア		さつきホーム クリニック鹿沼 診療同行看護師 伊藤 悦子
12	【講義・演習】地域・在宅看護と難病（ALS）のケア		さつき訪問看護 ステーション 所長 大島 美沙子
13	【講義・演習】地域・在宅看護とエンドオブライフケア（EOL）の理解		さつき訪問看護 ステーション がん看護専門看護師 齋藤 名歩
14	【講義・演習】地域・在宅看護と複雑困難 事例ケア		さつき訪問看護 ステーション 訪問看護師 秋山 美香
15	【試験】		秋澤 きみよ

テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論（2）地域・在宅看護の実践（第3章～5章）医学書院
参考書	基礎からわかる地域・在宅看護論 プチナース 照林社
成績評価の方法	国民衛生の動向 厚生労働省 筆記試験（100%）財団法人 厚生労働統計協会
その他、受講生への要望など	地域・在宅看護の対象は様々な時期・疾患を抱えて生活をしています。科学的根拠である疾患の理解については事前に調べておくと、より必要な看護や社会資源を考えることができると思います。

授業科目	地域・在宅看護支援論Ⅴ		
担当者名	秋澤 きみよ	実務経験	○
年次	2年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	療養者と家族の事例展開を通し、生活者中心の価値観・人生観、自己決定、家族介護力、社会資源の活用に着目し看護を展開できる基礎的能力を養う。		
授業科目の到達目標	1. 紙面上での事例展開を通して、在宅療養者および家族の生活環境、価値観や意向、家族介護力や社会資源活用などアセスメントの視点を理解する。 2. 家族を一単位として捉え、強みの強化、弱みに対する援助計画の立案ができる。 3. 在宅看護の対象別の療養上のリスクを理解し、対象の特性に対応した日常生活の援助および医療処置を伴う療養者・家族への援助について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】在宅看護の特徴と看護の視点		秋澤 きみよ
2	【講義・演習】在宅療養者と家族の看護展開	課題	秋澤 きみよ
3	【講義・演習】在宅療養者と家族の看護展開	課題	秋澤 きみよ
4	【講義・演習】在宅療養者と家族の看護展開	課題	秋澤 きみよ
5	【講義・演習】在宅療養者と家族の看護展開	課題	秋澤 きみよ
6	【講義・演習】シミュレーション	課題	秋澤 きみよ
7	【講義・演習】シミュレーション	課題	秋澤 きみよ
8	【講義・演習】まとめ	課題	秋澤 きみよ

テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔1〕地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕地域・在宅看護の実践 医学書院
参考書	強みと弱みからみた 在宅看護過程＋総合的機能関連図 医学書院
成績評価の方法	課題レポート（100％）
その他、受講生への要望など	地域・在宅看護論の看護過程では在宅療養者や家族が住み慣れた場所で希望する生活が継続できるよう個別性のある看護を提供するために展開します。そのためには根拠を明確にし、看護過程展開の意義を説明できるようにしましょう。

授業科目	がん看護支援論		
担当者名	金泉詳子・檜山千春・水野恵美・神長貴子	実務経験	○
年次	2年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	がんとその治療の特徴について理解し、対象と家族に必要な看護支援を学修する。 成人期の特徴をふまえ、終末期にある対象と家族への看護支援を学修する。		
授業科目の到達目標	1. がん医療の現状と看護について学修し、発達段階によるがんを発症した対象の特徴と看護を説明する。 2. 様々ながんの治療における対象と家族への看護を説明する。 3. がんサバイバーシップ、がんサバイバーシップケアについて学修し、がんとともに生きる対象と家族への看護について説明する。 4. がんとともに生きる対象や家族の講話から体験を理解し、必要な看護を説明する。 5. 終末期医療の現状、終末期にある対象と家族の特徴を説明する。 6. 終末期にある対象と家族への看護の特徴を説明する。 7. 終末期にある対象と家族に対する緩和ケア、意思決定・代理意思決定支援を説明する。 8. 終末期にある対象と家族への看護を説明し、必要な看護技術を習得する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】がん医療の現状と看護	がん医療の現状と看護について事前学習する	金泉 詳子
2	【講義】がん看護の対象とその特徴	教科書P184～200読んでおく	檜山 千春
3	【講義】がん患者の苦痛のマネジメント	教科書P200～215を読んでおく	檜山 千春
4	【講義】意思決定・代理意思決定支援、倫理的課題	意思決定・代理意思決定支援、倫理の言葉の意味について調べてください。	水野 恵美
5	【講義】対象と家族への看護：薬物療法（抗がん剤被爆含む）	薬物療法とは何か。言葉の意味を含め調べて下さい。	水野 恵美
6	【講義】対象と家族への看護：放射線療法（放射線被爆含む）		檜山 千春
7	【講義】対象と家族への看護：造血幹細胞移植		檜山 千春
8	【講義】がん患者の看護（乳がん・子宮頸がん）	乳がん・子宮頸がんの病態生理について学習してください。	水野 恵美
9	【講義】対象と家族への看護： がんサバイバーシップ、がんサバイバーシップケア	サバイバーの意味。サバイバーシップの意味について学習してください。	水野 恵美
10	【講義】がんと共に生きる対象と家族への看護 ※講話から看護を考える	ゲストスピーカーの疾患について事前学習する	ゲストスピーカー 金泉 詳子
11	【講義】終末期における医療の現状、終末期にある対象と家族の特徴	終末期について事前学習してくる	神長 貴子
12	【講義】終末期にある対象と家族への看護、退院支援・地域連携	終末期の退院支援・地域連携について事前学習する	神長 貴子
13	【講義】臨死期の看護	臨死期の看護について事前学習する	神長 貴子
14	【講義】終末期にある対象と家族に対する緩和ケア： 意思決定・代理意思決定支援・倫理的課題	終末期の意思決定・代理意思決定支援・倫理的課題について事前学習する	神長 貴子
15	試験		金泉 詳子

テキスト	医学書院 系統看護学講座 別巻 がん看護学、緩和ケア		
参考書	適時提示する		
成績評価の方法	筆記試験100点（檜山先生：30点、水野先生：30点〔教科書、講義内容から記述式、事例、多肢選択式で出題します〕、神長先生30点、金泉先生：10点）		
その他、受講生への要望など	演習では、事前学習で自分の意見をまとめておき、積極的にグループワークに参加してください。 がん看護は、がん患者の可能性と人生の豊かさを引き出すことの支援です。がん看護の奥深さに一緒に触れていきましょう。（水野）		

授業科目	成人看護支援論Ⅰ		
担当者名	金泉詳子・鈴木靖夫・福西由貴子・関根麗子	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	成人の特徴をふまえ、急性期にある対象と家族への看護支援を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 急性期看護の対象と、場の特徴を説明する。 2. 危機的状況にある対象と家族への支援を説明する。 3. 周術期にある対象とその家族への看護について説明する。 4. 術後の対象と家族への看護を説明し、必要な看護技術を習得する。 5. 救急看護、クリティカルケアについて説明し、必要な看護技術を習得する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】急性期看護の場の特徴、急性期にある対象と家族の特徴、理論	急性期について事前学習する	金泉 詳子
2	【講義】救急医療の現状、救急看護体制と看護、対象の状態のアセスメントと処置・看護（チーム医療含む）	救急医療について事前学習する	鈴木 靖夫
3	【講義・演習】救急処置と看護	救急処置と看護について事前学習する	鈴木 靖夫
4	【演習・演習】救急処置と看護、クリティカルケア演習（BLS、気管内吸引）	BLS、気管内吸引について事前学習する	鈴木 靖夫
5	【講義】集中医療の現状、集中治療を受ける対象と家族への看護、倫理的課題	集中医療について事前学習する	福西 由貴子
6	【講義】集中医療の現状、集中治療を受ける対象と家族への看護、倫理的課題	集中医療について事前学習する	福西 由貴子
7	【講義】周術期看護：手術前の対象と家族への看護	手術前の看護について事前学習する	関根 麗子
8	【講義】周術期看護：手術中の対象と家族への看護	手術中の看護について事前学習する	関根 麗子
9	【講義】周術期看護：手術後の対象と家族への看護	手術後の看護について事前学習する	関根 麗子
10	【講義・演習】周術期看護：手術後の対象と家族への看護 ※ドレーン類の管理・早期離床等の演習を含む	演習について事前学習する	関根 麗子
11	【講義】消化器機能障害のある患者の看護	消化器の解剖生理学について事前学習する	金泉 詳子
12	【講義】消化器機能障害のある患者の看護	消化器の疾患について事前学習する	金泉 詳子
13	【講義】消化器機能障害のある患者の看護	消化器機能障害のある患者の看護について事前学習する	金泉 詳子
14	【講義】消化器機能障害のある患者の周手術期の看護の実際（事例）	事例の疾患・看護について事前学習する	金泉 詳子
15	試験		金泉 詳子

テキスト	医学書院：成人看護学総論、臨床看護総論、救急看護学、クリティカルケア看護学、臨床外科看護総論、消化器
参考書	適時提示する
成績評価の方法	筆記試験100点（鈴木先生：20点、福西先生：15点、関根先生：30点、金泉先生：35点）
その他、受講生への要望など	演習では、事前学習で自分の意見をまとめておき、積極的にグループワークに参加してください。

授業科目	成人看護支援論Ⅱ		
担当者名	金泉 祥子・相馬 幸子・門馬 良明・佐藤 宏子・小堀 明美	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	成人の特徴をふまえ、慢性期にある対象と家族への看護支援を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 慢性期看護の対象と疾患の特徴を説明する。 2. 慢性期看護で用いられる理論等を説明する。 3. 慢性期にある対象と家族への看護を説明し、必要な看護技術を習得する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】慢性疾患の特徴、慢性期看護のと家族の特徴、慢性期看護に用いられる理論	テキストの該当部分を読む	金泉 祥子
2	【講義】内部環境調節機能障害（糖尿病）のある患者の看護	糖尿病について事前学習する	相馬 幸子
3	【講義】内部環境調節機能障害（糖尿病）のある患者の看護の実際（事例）	次回3日分の食事記録の持参をお願いします。	相馬 幸子
4	【講義・演習】内部環境調節機能障害（糖尿病）のある患者の看護 ※簡易血糖測定の実習を含む		相馬 幸子
5	【講義】慢性疾患を持つ対象と家族への専門職とチーム医療、社会資源の活用 セルフヘルスグループ・ピアサポート		相馬 幸子
6	【講義】内部環境調節機能障害のある患者の看護	内分泌器官とホルモンについて事前学習する	金泉 祥子
7	【講義】呼吸機能障害のある患者の看護	呼吸器の解剖生理学について事前学習する	門馬 良明
8	【講義】呼吸機能障害のある患者の看護	呼吸器の疾患について事前学習する	門馬 良明
9	【講義】呼吸機能障害のある患者の看護の実際（事例）	呼吸機能障害のある患者の看護について事前学習する	門馬 良明
10	【講義】造血・免疫機能障害のある患者の看護	造血・免疫機能の解剖生理学について事前学習してくる。	小堀 明美
11	【講義】造血・免疫機能障害のある患者の看護	造血・免疫機能の疾患について事前学習してくる	小堀 明美
12	【講義】腎機能障害のある患者の看護	腎臓の解剖生理学について事前学習する	門馬 良明
13	【講義】腎機能障害のある患者の看護	腎臓の疾患について事前学習する	門馬 良明
14	【講義】腎機能障害のある患者の看護の実際(事例)	腎機能障害のある患者の看護について事前学習する	門馬 良明
15	試験		金泉 祥子

テキスト	医学書院 成人看護学総論、内分泌・代謝、呼吸器、血液・造血器、腎・泌尿器
参考書	適時提示する
成績評価の方法	終講試験100点（門馬先生：40点、相馬先生：30点、金泉先生：15点、小堀先生：15点）
その他、受講生への要望など	演習では、事前学習で自分の意見をまとめておき、積極的にグループワークに参加してください。 急性と慢性の腎不全について事前に勉強してください。呼吸不全について事前に勉強してください。（門馬）

授業科目	成人看護支援論Ⅲ		
担当者名	金泉詳子・栃木県リハビリテーションセンターリハビリテーション看護認定看護師・佐藤晴美・門馬良明・秋澤きみよ	実務経験	○
年次	2年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	成人の特徴をふまえ、リハビリテーション期にある対象と家族への看護支援を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 障がいがある対象と家族の特徴、リハビリテーション看護について説明する。 2. 障がいとICFについて説明する。 3. 急性期・回復期・生活期のリハビリテーション看護の特徴について説明する。 4. リハビリテーション期にある対象と家族への看護を説明し、必要な看護技術を習得する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】障がいがある対象と家族の特徴、リハビリテーション看護の特徴、障がいとICF、リハビリテーション期看護に用いられる理論	テキストの該当部分を読んでくる	金泉 詳子
2	【講義】リハビリテーションにおける多職種連携、急性期・回復期・生活期のリハビリテーションと看護の特徴	リハビリテーション看護について事前学習する	栃木県立リハビリテーションセンター 廣田 桃子
3	【講義】脳・神経機能障害のある患者の看護（脳梗塞）	脳梗塞について事前学習する	栃木県立リハビリテーションセンター 岡本 淳
4	【講義】脳・神経機能障害のある患者の看護（脳梗塞）の実際(事例)	脳梗塞のある患者の看護について事前学習する	栃木県立リハビリテーションセンター 岡本 淳・片山 泰司
5	【講義・演習】脳・神経機能障害のある患者の看護 ※麻痺のある患者の援助の演習	麻痺のある患者の援助について事前学習する	栃木県立リハビリテーションセンター 岡本 淳・片山 泰司
6	【講義】脳・神経機能障害のある患者の看護	脳・神経の疾患について事前学習する	金泉 詳子
7	【講義】運動機能障害のある患者の看護	運動器の解剖生理学について事前学習する	秋澤 きみよ
8	【講義】運動機能障害のある患者の看護	運動器の疾患について事前学習する	秋澤 きみよ
9	【講義】循環器機能障害のある患者の看護	循環器の解剖、病態生理について事前学習する。	佐藤 晴美
10	【講義】循環器機能障害のある患者の看護（心不全）	心不全の病態と治療について事前学習する	佐藤 晴美
11	【講義】循環器機能障害のある患者の看護（心不全）の実際（事例）	心不全看護について事前学習する	佐藤 晴美
12	【講義・演習】臨床判断	テキストの該当部分を読んでくる	門馬 良明
13	【講義・演習】臨床判断	テキストの該当部分を読んでくる	門馬 良明
14	【講義・演習】臨床判断	テキストの該当部分を読んでくる	門馬 良明
15	試験		金泉 詳子

テキスト	医学書院 系統看護学講座 成人看護学総論、リハビリテーション看護、脳・神経、運動器、循環器
参考書	適時提示する
成績評価の方法	終講試験100点（門馬先生：20点、佐藤先生：20点、岡本（片山）先生：20点、廣田先生：10点、金泉先生：15点、秋澤先生：15点）
その他、受講生への要望など	演習では、事前学習で自分の意見をまとめておき、積極的にグループワークに参加してください。 病態生理について事前学習してください。（門馬）

授業科目	成人看護支援論Ⅳ		
担当者名	金泉 詳子	実務経験	○
年次	2年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	成人の特徴を踏まえた看護過程を展開し、計画した技術を実践する。		
授業科目の到達目標	1. 事例からヘンダーソンの14の基本的欲求をもとに必要な情報を収集し、アセスメントする。 2. アセスメントから関連図を記載する。 3. 必要な看護問題を抽出し、優先順位を決定する。 4. 看護計画を立案する。 5. 立案した看護計画を実践し、評価する。 6. 看護計画の実践後の評価に基づき看護計画を修正する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【演習】事例からの情報整理：急性期（MK or ストーマ） 回復期（脳梗塞）	看護過程展開について復習してくる	金泉 詳子
2	【演習】検査データの読み方、①呼吸	①呼吸のアセスメントをしてくる	金泉 詳子
3	【演習】②飲食、③排泄	②飲食、③排泄のアセスメントをしてくる	金泉 詳子
4	【演習】④姿勢、⑤睡眠	④姿勢、⑤睡眠のアセスメントをしてくる	金泉 詳子
5	【演習】⑥衣類、⑦体温	⑥衣類、⑦体温のアセスメントをしてくる	金泉 詳子
6	【演習】⑧清潔、⑨環境	⑧清潔、⑨環境のアセスメントをしてくる	金泉 詳子
7	【演習】⑩コミュニケーション、⑪信仰、⑫仕事	⑩コミュニケーション、⑪信仰、⑫仕事のアセスメントをしてくる	金泉 詳子
8	【演習】⑬レクリエーション、⑭学習、アセスメントのまとめ	⑬レクリエーション、⑭学習のアセスメントをしてくる	金泉 詳子
9	【演習】関連図	関連図を作成してくる	金泉 詳子
10	【演習】関連図、問題抽出、優先順位の決定	問題を抽出し、優先順位を記載してくる	金泉 詳子
11	【演習】看護計画立案	看護計画を立案してくる	金泉 詳子
12	【演習】立案した看護計画の発表、実践する看護計画の準備	発表の準備をしてくる	金泉 詳子
13	【演習】立案した看護計画の実践と評価	看護計画実践の計画を立ててくる	金泉 詳子
14	【演習】立案した看護計画の実践と評価	看護計画実践の計画を立ててくる	金泉 詳子
15	【演習】看護計画の評価と修正	看護計画の評価と修正をしてくる	金泉 詳子

テキスト	基礎看護技術Ⅰ、成人看護学総論、消化器or呼吸器、病態生理学、臨床外科総論など看護過程の展開に必要なテキスト
参考書	適時提示する
成績評価の方法	グループ発表資料と発表態度（20％）、看護過程の記録（80％）
その他、受講生への要望など	演習では、事前学習で自分の意見をまとめておき、積極的にグループワークに参加してください。

授業科目	老年看護支援論Ⅰ		
担当者名	瀬畑仁美・石川幸子	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	加齢に伴う変化・健康障害をもつ高齢者の生活機能を整える看護の基本技術を習得する。		
授業科目の到達目標	1. 加齢変化や健康障害に応じた具体的な援助方法を身につける。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】栄養・食事援助技術 ・栄養状態および摂食・嚥下機能のアセスメント	事後：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。 課題レポート	瀬畑仁美
2	【演習】栄養・食事援助技術 ・嚥下リハビリテーション、口腔ケア ・嚥下食	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する 事後：課題レポート	瀬畑仁美
3	【演習】栄養・食事援助技術 ・口腔ケア、義歯の洗浄 ・誤嚥時の対応、排痰法、モデル人形を用いた経管栄養法の実施	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する 事後：課題レポート	瀬畑仁美
4	【講義】活動・休息援助技術、安全管理の技術 ・高齢者の生活リズムのアセスメント ・転倒リスクのアセスメント	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する 事後：課題レポート	瀬畑仁美
5	【講義】清潔・衣生活、排泄援助技術 ・加齢に伴う皮膚の変化 ・老人性皮膚掻痒症 ・高齢者への清拭、更衣、陰部洗浄、オムツ交換	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する	瀬畑仁美
6	【演習】清潔・衣生活、排泄援助技術 ・モデル人形を用いて清拭、更衣、陰部洗浄、オムツ交換の実施	事前：内容に沿ったテキストの項目を精読したうえで演習に臨む。	瀬畑仁美
7	【演習】清潔・衣生活援助技術 ・モデル人形を用いて清拭、更衣、陰部洗浄、オムツ交換の実施	事後：課題レポート	瀬畑仁美
8	【講義】皮膚管理、与薬の技術 ・スキンケア、スキン-ケア予防 ・経皮・外用薬の投与（軟膏・点眼・貼付剤・座薬）	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	瀬畑仁美
9	【講義・演習】高齢者の生活支援技術 ・余暇支援	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	石川幸子
10	【演習】排泄援助技術 ・尿失禁・便失禁 ・排泄機能のアセスメント	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する 事後：課題レポート	瀬畑仁美
11	【講義・演習】高齢者の生活支援技術 ・高齢者への集団レクリエーション	事前：内容に沿った準備をしたうえで演習に臨む。	石川幸子
12	【演習】高齢者の生活支援技術 ・高齢者への集団レクリエーション	事後：課題レポート	石川幸子
13	【演習】排泄、与薬援助技術 ・モデル人形を用いた摘便・座薬の挿入の実施 ・モデル人形を用いて陰部洗浄、オムツ交換の実施	事前：内容に沿ったテキストの項目を精読したうえで演習に臨む。	瀬畑仁美
14	【演習】排泄、与薬援助技術 ・モデル人形を用いた摘便・座薬の挿入の実施 ・モデル人形を用いて陰部洗浄、オムツ交換の実施	事後：課題レポート	瀬畑仁美
15	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論 医学書院 パーフェクト臨床実習ガイド 老年看護 照林社
参考書	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術
成績評価の方法	課題レポート：配点４０点、筆記：６０点
その他、受講生への要望など	老年看護学実習において対象に合った援助を提供するために必要な知識・技術を習得することが主要となります。主体的に課題に取り組み、演習に参加することを期待します。始講までに各自フラットファイルを準備し、看護の基本技術Ⅰの資料を全て綴るようにしてください。

授業科目	老年看護支援論Ⅱ		
担当者名	瀬畑仁美	実務経験	○
年次	2年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	紙面上での事例展開を通して、加齢変化・健康障害をもつ高齢者の生活の質を高める視点から看護展開できる基礎的能力を養う。		
授業科目の到達目標	1. 高齢者特有の身体症状や健康問題の成り立ちを説明する。 2. 対象に生じている疾患・生活上の問題に対して、根拠に基づき理論的・分析的な考え方ができる。 3. 対象の加齢変化や健康段階・価値観に応じた看護問題の整理・優先順位の決定・目標の設定・看護計画の立案をする。 4. 高齢者の安全、安楽、自立を考慮し、高齢者のもてる力を活かした看護の方法を説明する。 5. アセスメントや立案した計画を評価する方法がわかる。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】高齢者の特徴をいかした看護過程の考え方 ・疾患の理解（誤嚥性肺炎・認知症）	事前（夏季休暇中の課題）：加齢変化の全体像 事前（老年Ⅱ実習期間中の課題）：誤嚥性肺炎の病態、診断、治療（病態関連図） プレテスト：誤嚥性肺炎、認知症 事後：加齢変化の全体像、病態関連図を完成させる	瀬畑仁美
2	【講義・演習】高齢者の特徴をいかした看護過程の考え方 ・情報収集・分類整理 ・高齢者の検査データ ・高齢者の薬物動態	事後：加齢変化の全体像、病態関連図を完成させる	瀬畑仁美
3	【講義・演習】基本的ニーズの充足・未充足 ・看護問題の明確化につなげる全体像	事後：基本的ニーズの充足・未充足、全体像（冬季休暇中の課題）	瀬畑仁美
4	【講義・演習】看護問題の整理・優先順位の決定 ・健康段階に応じた優先順位の決定	事後：看護問題の整理・優先順位の決定	瀬畑仁美
5	【講義・演習】看護計画立案 ・高齢者の安全、安楽、自立 ・高齢者のもてる力を活かした看護の方法	事後：看護計画を立案する	瀬畑仁美
6	【講義・演習】看護計画立案・行動計画	事後：行動計画を立案する	瀬畑仁美
7	【講義・演習】実施・評価	事後：評価、計画の追加・修正をする	瀬畑仁美
8	【講義・演習】まとめ	事後：看護過程の展開レポートを完成させる 事後レポート：老年期にある人の看護過程展開をととしての学び・自己の課題	瀬畑仁美

テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論 医学書院 パーフェクト臨床実習ガイド老年看護 照林社		
参考書			
成績評価の方法	プレテスト：配点10点、課題レポート：配点90点 レポート課題が提出されない場合は0点となります。		
その他、受講生への要望など	本科目は老年看護学実習Ⅲの基盤となります。既習の知識・技術をもとに老年期にある対象を深く理解し、もてる力を活かした援助を考えてみましょう。始講までに各自リングファイル・インデックス・パンチ穴補強シール、黒紐を準備し、老年看護支援論Ⅱの資料を全て綴るようにして下さい。		

授業科目	認知症ケア論		
担当者名	認知症看護認定看護師 柴田江美子・谷脇広美	実務経験	○
年次	2 年次	学期	前期
単位	1 単位	時間数	30時間
授業科目の概要	超高社会を生きる私たちにとって、認知症は誰もが避けて通れない病気となりつつある。あらゆる場において認知症をもつ人の意思が適切に反映されるよう、認知症および認知症の人の体験世界、生活に生じる困難や様々な特性を理解し、認知症をもつ人の健康と尊厳ある生活を支援するための援助方法について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 認知症の医学的基礎的知識を理解する。 2. 認知症の中核症状や行動・心理症状（BPSD）を説明する。 3. 認知症をもつ人とのコミュニケーション方法を身につける。 4. 認知症の人の心身を活性化させる生活のあり方を理解する。 5. 認知症をもつ人の心理的特徴や、認知症に伴う生活への影響を理解し、多様な場におけるケアのあり方を考え、発表できる。 6. 認知症高齢者と家族への支援方法について自分の考えを表現する。 7. 多職種連携で行う認知症支援について説明する。 8. 認知症高齢者の日常生活・社会生活における意思決定支援について説明する。 9. 認知症高齢者のエンドオブライフケアについて自分の考えを表現する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】認知症の理解（診断、治療、予防）		谷脇 広美
2	【講義・演習】認知症の理解、認知症との鑑別疾患（せん妄・うつ）認知症スケール		谷脇 広美
3	【講義・演習】認知症の人の体験の理解・認知症高齢者の心理的特徴		柴田江美子
4	【講義・演習】認知症高齢者とのコミュニケーション	3 コマ続き GW・発表	柴田江美子
5	【講義・演習】認知症高齢者の日常生活のアセスメントとケア		
6	【講義・演習】認知症高齢者の日常生活のアセスメントとケア		
7	【講義・演習】多様な場における認知症ケア	2 コマ続き 演習	谷脇 広美
8	【講義・演習】認知症高齢者と家族の理解		
9	【講義・演習】認知症高齢者と家族のサポートシステム ・認知症基本法 ・認知症高齢者を介護する家族の実態 ・家族の身体的、心理的、社会的負担 ・家族の認知症の受容過程での支援 ・家族の介護力評価、家族のレスパイト、家族会	GW・演習	谷脇 広美
10	【講義・演習】認知症高齢者を介護する家族のサポートシステム ・地域におけるサポート体制		
11	【講義・演習】地域包括ケアシステムと認知症ケア ・多職種連携で行う認知症支援 ・認知症ケアパス ・認知症の予防と早期発見		柴田江美子
12	【講義・演習】認知症高齢者の権利擁護 ・認知症高齢者の日常生活・社会生活における意思決定支援 ・認知症高齢者の家族の代理意思決定の支援 ・後見人制度	ペーパーペーシェント	柴田江美子
13	【講義・演習】認知症高齢者のエンドオブライフケア		柴田江美子
14	【講義・演習】認知症高齢者ケアの意思決定プロセス ガイドライン・ACP		柴田江美子
15	【試験】		瀬畑 仁美

テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験・課題レポート・グループワーク参加態度		
その他、受講生への要望など	事前課題はありません。現代の認知症看護・ケアの基本的な処を学び、考え、GWを通して発表することで、表現・説明できればと考えています。興味・関心をもって今後の実習へのかかわり方、認知症の方の世界を理解できるように進めて行ければと思います。		

授業科目	老年看護学実習Ⅱ		
担当者名	瀬畑仁美	実務経験	○
年次	2年次	学期	後期（10月）
単位	2単位	時間数	60時間
授業科目の概要	介護保険サービスを利用する高齢者の特徴を理解し、対象が望む生活を継続するための看護を実践できる基礎的能力を養う。		
授業科目の到達目標	1. 特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターの概要を説明する。 2. 高齢者の加齢変化や健康状態について説明する。 3. 高齢者の状況・状態に応じたコミュニケーション技法を用いて対象と円滑な人間関係を築く。 4. 高齢者のもつ価値観に対する理解を深め、個別の老年期の生き方を説明する。 5. 対象の持てる力を活かした日常生活援助の一部実施・評価をする。 6. 高齢者の自尊心を尊重した関わりについて考察する。 7. 高齢者の健康・生活を支えるための多職種連携について説明する。 8. 自己の老年観を説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【学内】オリエンテーション		瀬畑仁美
2	【臨地】特別養護老人ホーム		瀬畑仁美
3	【臨地】特別養護老人ホーム		瀬畑仁美
4	【臨地】特別養護老人ホーム		瀬畑仁美
5	【臨地】特別養護老人ホーム		瀬畑仁美
6	【学内】		瀬畑仁美
7	【臨地】デイサービスセンター		瀬畑仁美
8	【臨地】デイサービスセンター		瀬畑仁美
9	【学内】		瀬畑仁美
10	【学内】まとめ		瀬畑仁美

テキスト	
参考書	
成績評価の方法	実習評価表に準じる
その他、受講生への要望など	高齢者と時間を共有し、その人らしさや対象のもつ強みを見出すことを楽しんでみましょう。

授業科目	小児看護支援論Ⅰ		
担当者名	小堀 明美	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	本科目では、子ども各期における成長・発達の特徴を理解し、子どもの発達段階を考慮した関わりについて学修する。また、成長発達を促進する支援の在り方や、子どもと家族が持てる力を発揮できる支援について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 子どもの成長発達的一般性・共通性、成長・発達の評価方法について説明する。 2. 子どもの発達段階に応じた日常生活援助について説明する。 3. 子どもとのコミュニケーションの取り方について説明する。 4. 子どものフィジカルアセスメントについて学ぶ。 5. 地域社会と連携した子育て支援について説明する。 6. 子どもが示す症状の特徴や看護について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】子どもの成長発達① 1. 成長発達とは 2. 成長発達の区分・原則 3. 発達課題と発達理論（ピアジェ・ボウルビィ・マラー）		小堀 明美
2	【講義】子どもの成長発達② 1. 成長発達に影響を及ぼす因子 2. 成長発達の評価		小堀 明美
3	【講義・演習】乳児期の成長発達 1. 形態・機能的発達、身体生理的特徴 2. 情緒・社会的機能 3. 事故防止	事後課題：子どもの成長発達①	小堀 明美
4	【講義・演習】幼児期の成長発達 1. 形態・機能的発達、身体生理的特徴 2. 情緒・社会的機能 3. 事故防止	事後課題：子どもの成長発達②	小堀 明美
5	【講義・演習】学童期の成長発達 1. 形態・機能的発達、身体生理的特徴 2. 情緒・知的機能 3. 日常生活および社会的機能と環境 4. 事故防止	事後課題：子どもの成長発達③	小堀 明美
6	【講義・演習】思春期・青年期の成長発達 1. 形態・生理的特徴 2. 知的・社会的機能 3. 生活の特徴・心の問題	事後課題：子どもの成長発達④	小堀 明美
7	【講義】子どもの栄養 1. 子どもにとっての栄養の意義 2. 発達段階別の子どもの栄養と看護		小堀 明美
8	【講義・演習】子どもとのコミュニケーション 1. コミュニケーションの発達 2. コミュニケーションの意味 3. 玩具	事前課題：子どもとのコミュニケーション	小堀 明美
9	【講義・演習】子どものアセスメント 1. バイタルサイン 2. 身体的アセスメント	事前課題：ケアモデルの手順と根拠 事後レポート：振り返り	小堀 明美
10			小堀 明美
11	【講義】子どもと遊び① 1. こどもにとっての遊びの意義 2. 成長発達を踏まえた遊びと事故防止策		小堀 明美
12	【演習】子どもと遊び② 1. 成長発達を踏まえた遊びの実際	事後レポート：子どもと遊び	小堀 明美
13	【講義・演習】地域社会と連携した子育て支援 1. 現代家族の子育ての状況 2. 訪問支援 子どもの場所支援 NPO ボランティア	事前課題：子育ての不安や悩みについてインタビュー	小堀 明美
14	【講義】症状を示す子どもの看護 1. いつもと違う様子 2. 嘔吐 下痢 発疹 痙攣		小堀 明美
15	【試験】筆記試験		小堀 明美

テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学Ⅰ 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験配点：３０点 ・課題レポート配点７０点		
その他、受講生への要望など	子どもの成長発達と、成長発達を促進する支援について共に学んでいきましょう。		

授業科目	小児看護支援論Ⅱ（こどもの疾患）		
担当者名	太田 浩史	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	本科目では、子どもに特徴的な疾患の、病態、症状、診断、治療について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 各疾患の病態について説明する。 2. 各疾患の診断基準と検査を説明する。 3. 各疾患の基本的な治療を説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】染色体異常・神経系疾患 常染色体異常、性染色体異常、脊髄性筋萎縮症、二分脊椎症、てんかん、熱性けいれん		太田 浩史
2	【講義】内分泌疾患 成長障害と下垂体疾患、甲状腺疾患、糖尿病		太田 浩史
3	【講義】免疫疾患・アレルギー性疾患 原発性免疫不全症、食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎		太田 浩史
4	【講義】呼吸器疾患、事故、感染症 上・下気道疾患、気道異物、肺炎、麻疹、百日咳		太田 浩史
5	【講義】血液・循環器疾患 先天性・後天性心疾患、川崎病、白血病		太田 浩史
6	【講義】消化器疾患 先天性・後天性消化器疾患、口唇口蓋列、肥厚性幽門狭窄症、腸重積症、ヒルシュスプルング病、鎖肛、乳幼児下痢症		太田 浩史
7	【講義】腎・泌尿器疾患、脱水症 先天性腎尿路奇形、腎疾患、ネフローゼ症候群		太田 浩史
8	【試験】		小堀 明美

テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論 小児看護学2 医学書院
参考書	
成績評価の方法	筆記試験 配点100点
その他、受講生への要望など	小児の疾患は、成人と異なる部分もありますが、考え方のベースは人体の構造と機能や成人の疾患となります。よって、それらを復習、理解した上で授業に臨むことを期待します。

授業科目	小児看護支援論Ⅲ（健康問題を持つこどもの看護）		
担当者名	自治医科大学こども医療センター看護師：金田 陽子・田中 まゆみ・宗像 修・DAIJI看護師：大橋 久美子・小堀 明美	実務経験	○
年次	2 年次	学期	後期
単位	1 単位	時間数	3 0 時間
授業科目の概要	本科目は、健康問題を持つ子どもとその家族を理解し、子どもの成長発達段階や健康状態、子どもと家族が置かれている様々な状況に合わせた支援について学修する。また、親子の療養行動やセルフケア能力を促進する援助や認知能力が発達途上な子どもが治療・処置を受けることの困難さ、倫理的配慮を踏まえた看護援助について学ぶ。まとめとして、紙上事例を用いた演習を通して看護過程の展開と、子どもを対象とした基礎看護技術を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 集中治療を受ける子どもと家族への支援について説明する。 2. 小児期に特有の健康問題を病期別に捉え、基本となる看護について説明する。 3. 健康問題を持つ子どものアセスメントの視点を学び、看護過程を展開する。 4. 子どもを対象とした看護技術を身に付ける。 5. 子どもとその家族が、自らの持てる力を発揮する支援の在り方を考える。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】低出生体重児の看護 1. NICUの実際		自治医科大学こども医療センター看護師 金田 陽子
2	【講義】慢性疾患をもつ子どもの看護① 1. 慢性状態の子どもと家族の看護 1) 気管支喘息・ネフローゼ症候群		自治医科大学こども医療センター看護師 田中 まゆみ
3	【講義】慢性疾患をもつ子どもの看護② 1. 慢性状態の子どもと家族の看護 1) 1型糖尿病・先天性心疾患		自治医科大学こども医療センター看護師 田中 まゆみ
4	【講義】急性期にある子どもの看護① 1. 疼痛・呼吸困難・発熱・脱水を有する小児の看護 2. 緊急時の看護、小児のBLS		自治医科大学こども医療センター看護師 宗像 修
5	【講義】急性期にある子どもの看護② 1. 周術期の子どもと家族の看護 2. ディストラクション・プレパレーションの実際		自治医科大学こども医療センター看護師 宗像 修
6	【講義】終末期にある子どもの看護 1. 終末期にある子どもと家族の看護 1) 小児各期の死の受け止め方について 2) 死に直面した小児と家族の看護 3) 子どもと家族の意思決定支援		自治医科大学こども医療センター看護師 金田 陽子
7	【講義】重症心身障害児の看護 1. 医療的ケアを必要とする子どもと家族の看護		DAIJI看護師 大橋 久美子
8	【講義・演習】検査・処置を受ける子どもの看護 1. 子どもにとっての検査処置体験 2. ディストラクション・プレパレーションの実際	事前課題：技術 事後レポート：振り返り	自治医科大学こども医療センター看護師 田中 まゆみ
9	【演習・演習】小児看護に必要な技術 1. 薬物動態と薬用量の決定 2. 与薬 3. 輸液管理(シーネ固定)	事前課題：技術 事後レポート：振り返り	自治医科大学こども医療センター看護師 宗像 修
10			自治医科大学こども医療センター看護師 宗像 修
11	【演習】小児病棟における危険予知トレーニング 環境整備	事前課題：技術 事後レポート：振り返り	小堀 明美
12	【講義・演習】看護過程の展開①	事後レポート：事例 看護過程①	小堀 明美
13	【講義・演習】看護過程の展開②	事後レポート：事例 看護過程②	小堀 明美
14	【講義・演習】看護過程の展開③	事後レポート：事例 看護過程③	小堀 明美
15	【試験】筆記試験		小堀 明美

テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小臨床看護総論 小児看護学 1 医学書院
参考書	
成績評価の方法	筆記試験配点：70点・課題レポート配点：30点
その他、受講生への要望など	病気や障がいとともに生きる子どもと家族への支援の在り方を、共に学んでいきましょう。演習は、事前課題に取り組み授業に臨んで下さい。

授業科目	母性看護支援論Ⅰ		
担当者名	藤川 智子	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	本科目では、妊娠期から分娩期にある女性の身体的・心理的・社会的特徴について理解し、正常な妊娠・分娩経過を辿るために必要な支援の在り方について学修する。さらに、妊娠期から分娩期までの正常を逸脱した状態とその看護について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 正常な妊娠経過について説明する。 2. 妊婦とその家族の健康を増進する看護について説明する。 3. 正常な分娩経過について説明する。 4. 産婦とその家族が望む分娩へと、その支援について説明する。 5. 妊娠期から分娩期における異常な経過やハイリスクについて説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 正常な妊娠経過 1. 妊娠期間の定義 2. 妊娠の成立 3. 胎児と胎児付属物		藤川 智子
2	【講義】 妊娠期的特徴 1. 妊娠期の身体的変化 2. 妊娠期の心理的・社会的変化		藤川 智子
3	【講義・演習】 妊娠期の看護① 1. 妊婦健康診査 ※妊婦体験 1) 妊娠経過 2) 妊娠期の検査と目的 3) 胎児の発育と健康状態の把握 4) 母体の健康状態の把握		藤川 智子
4	【講義・演習】 妊娠期の看護② 1. マイナートラブルとその対応 ※妊婦体験 1) 出現時期とその対応 2) 予防と必要な保健指導 2. 親になるための支援 1) 安楽な分娩と分娩を理解するための支援 2) 親役割獲得に伴う支援		藤川 智子
5	【講義】 妊娠期の異常と看護① 1. ハイリスク妊娠とは 2. 妊娠期の感染症（コロナを含む） 1) 感染経路 2) 胎児及び母体に与える影響 3) 感染時の対応と予防		藤川 智子
6	【講義】 妊娠期の異常と看護② 1. 妊娠悪阻の理解と看護 2. 妊娠高血圧症候群の理解と看護		藤川 智子
7	【講義】 妊娠期の異常と看護③ 1. 切迫流産の理解と看護 2. 切迫早産の理解と看護 3. 頸管無力症		藤川 智子
8	【講義】 妊娠期の異常と看護④ 1. 合併妊娠 1) 婦人科疾患合併妊娠 2) 糖尿病合併と妊娠糖尿病 3) 血液型不適合妊娠 2. 胎児および付属物の異常 1) 前期破水 2) 胎児発育不全 3) 羊水過多・羊水過少		藤川 智子
9	【講義・演習】 分娩期の看護① 1. 分娩三要素 1) 娩出力 2) 産道 3) 娩出物 2. 分娩機転 1) 陣痛発来との機序 2) 胎児娩出～胎盤娩出までの機序		藤川 智子
10	【講義・演習】 分娩の看護② 1. 分娩各期の特徴と所要時間 2. 分娩経過の記録 ・CTG(分娩監視装置) ・バルトグラム		藤川 智子
11	【講義・演習】 分娩各期の看護③ 1. 生活を整える技術 ※妊婦体験 2. 産痛緩和の技術 3. 分娩における心理的変化 ・パースレビュー・カンガルーケア		藤川 智子
12	【講義】 分娩期の異常と看護① 1. 分娩三要素の異常 1) 産道の異常 2) 娩出力の異常 3) 胎位・回旋の異常		藤川 智子
13	【講義】 分娩期の異常と看護② 1. 付属物の異常 1) 常位胎盤早期剥離 前置胎盤 2. 異常出血 1) 産科的危機出血の理解と対応		藤川 智子
14	【講義】 分娩期の異常と看護③ 1. 分娩様式の異常 1) 吸引分娩 2) 鉗子分娩 3) 腹式帝王切開術 2. 死産（グリーフケア）		藤川 智子
15	【振り返り・試験】 筆記試験		阿部 未映子

テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学Ⅱ 医学書院
参考書	母性・小児看護ぜんぶガイド 第2版（ブチナース） 照林社
成績評価の方法	筆記試験配点：20点 ・ポストテスト配点：30点 ・課題レポート配点：50点
その他、受講生への要望など	妊娠期と分娩期の生理的な変化と支援の在り方を学習していきます。事前学習や実施後の振り返りがとても大切です。演習ではグループで協力しながら主体的に学習していきましょう。

授業科目	母性看護支援論Ⅱ		
担当者名	湯澤隆子・大野みな子・阿部未映子	実務経験	○
年次	2年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	本科目では、産褥期にある女性の身体的・心理的・社会的特徴について理解し、正常な産褥経過を辿るために必要な支援の在り方を学修する。また、新生児の生理的变化を理解し、子宮外生活適応に向けた看護について学修する。更に、新しい家族を迎えて地域社会で暮らす母子が、安心して子育てができる仕組みについて考察する。		
授業科目の到達目標	1. 正常な産褥経過について説明し、事例のアセスメントができる。 2. 事例から退院後、地域で安心して子育てができる支援について考察する。 3. 産褥期の正常な経過を促進するための看護技術を身に付ける。 4. 正常な新生児の経過について説明し、事例のアセスメントができる。 5. 新生児に必要な看護技術を身に付ける。 6. 産褥期と新生児期の正常を逸脱した状態と看護について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】正常な産褥経過 1. 産褥期の身体的変化① 1) 退行性変化とは 2) 退行性変化の観察とアセスメント 3) 退行性変化促進の看護	課題レポート 事前アセスメント①	湯澤 隆子
2	【講義・演習】正常な産褥経過 1. 産褥期の身体的変化② 1) 進行性変化とは 2) 進行性変化の観察とアセスメント 3) 母乳に関する基礎知識 4) 母乳分泌促進の看護	課題レポート 事前アセスメント②	湯澤 隆子
3	【講義・演習】正常な産褥経過 1. 産褥期の心理的变化 1) 母親への適応過程 2) 愛着形成 3) 父親の心理的变化 2. 産褥期の社会的変化 1) 家族関係の再構築 2) 社会復帰	課題レポート 事前アセスメント③	湯澤 隆子
4	【講義】産褥期の異常と看護 1. 退行性変化の異常 1) 子宮復古不全 2) 産褥熱 3) 産褥血栓症 2. 進行性変化の異常 1) 乳房トラブル 2) 乳腺炎	課題レポート 事前アセスメント④	湯澤 隆子
5	【講義】産褥期の異常と看護 1. 腹式帝王切開術後の看護 2. マタニティブルーと産後うつ病 1) 母子のソーシャルサポート 3. 死産した母親と家族のケア	事後レポート：産後うつ	湯澤 隆子
6	【講義】正常な新生児経過 1. 新生児の生理 1) 子宮外生活適応現象 2) 新生児の特徴		大野 みな子
7	【講義】正常な新生児の経過 1. 新生児の看護 1) 出生直後の看護 2) 退院までの看護 3) 新生児に行われる検査 4) 安全対策・感染予防対策		大野 みな子
8	【講義・演習】新生児の経過 1. 新生児のアセスメント① 1) 観察ポイントと方法 2) 評価の方法 【一過性多呼吸・呼吸窮迫症候群・胎便吸引症候群 】		大野 みな子
9	【講義】新生児の経過 1. 新生児のアセスメント② 【動脈管開在症・低血糖】		大野 みな子
10	【講義】新生児の経過 1. 新生児のアセスメント③ 【出血性疾患・高ビリルビン血症】		大野 みな子
11	【演習】産褥期の看護技術 1) 退行性変化の観察 2) 進行性変化の観察 3) 授乳支援		阿部 未映子
12			
13	【演習】新生児の看護技術 1) 出生直後のケア・BLSアルゴリズム		阿部 未映子
14	2) 新生児のバイタル測定と観察 3) 新生児の沐浴、ドライテクニック・更衣・オムツ交換		
15	【振り返り・試験】筆記試験		阿部 未映子

テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学2 医学書院
参考書	母性・小児看護ぜんぶガイド 第2版（ブチナース） 照林社
成績評価の方法	産褥：40点《筆記試験20点・レポート20点（5点×4）》 新生児：40点 技術：20点
その他、受講生への要望など	分娩後の褥婦と新生児の生理的な変化と支援の在り方を学習していきます。実習や国家試験に関連した内容です。主体的に学習していきましょう。 産褥期はNsの力を大いに発揮できる分野です。聞き慣れない専門用語も出てきますが、できるだけわかりやすい講義にしたいと思います。（湯澤）

授業科目	リプロダクティブヘルス論		
担当者名	阿部 未映子	実務経験	○
年次	2 年次	学期	前期
単位	1 単位	時間数	1 5 時間
授業科目の概要	リプロダクティブヘルス／ライツの概念を基に、本科目では女性の生涯にわたる健康を支援できるように、女性のライフステージの特徴を理解し、健康問題と看護について学修する。また、リプロダクティブヘルス／ライツにおける倫理について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 看護における健康支援の目的と意義を説明する。 2. リプロダクティブヘルスの概念について説明する。 3. 女性のライフステージにおける形態機能及び心理・社会的変化について説明する。 4. 女性のライフステージ別に起こりやすい健康問題と看護について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】健康支援の目的と支援技術 1. 社会の変化と求められる看護支援活動 2. 健康支援に活用する理論		阿部 未映子
2	【講義・協同学習】リプロダクティブヘルス／ライツ 1. リプロダクティブヘルスの概念 2. 女性のライフステージにおける形態機能の変化 3. 女性のライフステージにおける心理的・社会的変化		阿部 未映子
3	【講義・協同学習】ライフステージに特徴的な課題① 1. 思春期・性成熟期	事前：思春期・性成熟期の課題	阿部 未映子
4	【講義・協同学習】ライフステージに特徴的な課題② 1. 更年期・老年期	事前：更年期・老年期の特徴	阿部 未映子
5	【演習】健康支援演習① 1. 女性のライフステージにおける健康と看護 対象設定・目標設定	事前・事後：グループごとの課題	阿部 未映子
6	【演習】健康支援演習② 1. 学習計画の作成	事前・事後：グループごとの課題	阿部 未映子
7	【演習】健康支援演習③ 1. 学習計画の作成	事前・事後：グループごとの課題	阿部 未映子
8	【発表】健康支援演習④ 1. 立案した学習指導案に基づく発表	事後レポート：振り返り	阿部 未映子

テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 母性看護学1 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	試験 配点：40点・ルーブリック評（レポート・グループワーク・発表）価配点：60点		
その他、受講生への要望など	健康支援の在り方を保健指導という視点で学習していきます。教育的な関りと、リプロダクティブヘルスについて共に学んでいきましょう。		

授業科目	精神看護支援論Ⅰ		
担当者名	本郷 秀崇 大垣 芳之	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	人間関係や生活の場におけるこころの反応について学び、ライフサイクルにおける心の発達をふまえ、精神看護の機能と役割を学修する。		
授業科目の到達目標	1. こころの健康について説明する。 2. 人の成長と回復にとっての集団の役割と意味について説明する。 3. 関係をアセスメントすることの意味と方法について説明する。 4. 患者-看護師関係でおきる現象のしくみと対処法を説明する。 5. 精神障害をもつ人々の回復を促し支援する様々なアプローチを説明する。 6. リカバリーを促す環境としてのグループの方法を説明する。 7. 生活の場とこころの健康の関係について理解する。 8. 環境への適応とこころの健康の関係について理解する。 9. 人間のライフサイクルとライフサイクルにおける心の危機を理解する。 10. 社会復帰・社会参加、社会資源の活用について説明する。 11. 精神科医療における安全について、その基本的な考え方を知り、患者の安全を守るためのリスクマネジメントについて理解する。 12. リエゾン精神看護について説明する。 13. 看護という職業と感情・こころの健康について理解する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】精神保健の考え方 1. 精神の健康とは 2. 心的外傷と回復 3. 精神障害という考え方		精神保健福祉士 本郷 秀崇
2	【講義】関係のなかの人間 1. 人間関係 2. 家族 3. 集団と個人とグループ		本郷 秀崇
3	【講義】ケアの人間関係・第9章 回復を支援する （＊主に地域、精神保健福祉士の視点で） 1. ケアの原則 2. 回復について 3. リカバリーへのプログラム		本郷 秀崇
4	【講義】地域におけるケアと支援 1. 病院から地域へ 2. 支援する際の原則		本郷 秀崇
5	【講義】地域におけるケアと支援 1. ケアマネジメントという方法 2. 退院支援 3. 再発と危機		本郷 秀崇
6	【講義】学校におけるメンタルヘルス 1. 現状と課題 2. チームとしての学校	レポートの課題 自己の現状と課題	本郷 秀崇
7	【講義】職場におけるメンタルヘルス 1. 働く人の健康 2. 職場復帰支援		本郷 秀崇
8	【講義】精神保健医療福祉における多職種連携 1. 多職種連携の実践		本郷 秀崇
9	【講義】社会資源の活用と調整 精神科デイケア・精神科ナイトケア・精神科訪問看護・精神科外来看護	レポートの課題 多職種の連携について	本郷 秀崇
10	【講義】関係の中の人間・ケアの人間関係・回復を支援する （＊看護師の視点で） 1. 患者・看護師関係 2. 困難事例 3. 回復について 4. リカバリーへのプログラム		大垣 芳之
11	【講義】入院治療の意味 1. 精神科を受診すること 2. 入院について 3. 入院中の観察とアセスメント 4. ケアの方向性		大垣 芳之
12	【講義】安全を守る 1. 安全の条件 2. 緊急事態に対処する		大垣 芳之
13	【講義】医療の場におけるメンタルヘルスと看護 1. 身体疾患をもつ患者のメンタルヘルス 2. リエゾン精神看護の活動		大垣 芳之
14	【講義】災害時のメンタルヘルスと看護、看護師のメンタルヘルス 1. 災害時における心のケア 2. 支援者のメンタルヘルスとケア		大垣 芳之
15	【試験】		大垣 芳之

テキスト	ナーシンググラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本	
参考書		
成績評価の方法	筆記試験：100点（本郷：先生60点、大垣：40点）	
その他、受講生への要望など	さまざまな生活の場で精神に障害を抱える方々の支援に携わっている講師の先生方からの貴重な講義です。 目的意識を持ちながら、また、実習をイメージしながら参加してください。	

授業科目	精神看護支援論Ⅱ		
担当者名	駒橋徹 小松崎大助 佐々木はづき 土屋貴裕	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	各精神疾患の病態および症状、検査・診断を含めた障害の特徴について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 精神症状と病理について説明する。 2. 主な精神疾患の特徴と治療を説明する。 3. 精神機能の回復をもたらす各種治療法について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 精神症状と状態像 ①精神を病むことと生きること ②さまざまな精神症状		医師 駒橋 徹
2	【講義】 精神障害の診断、検査 ①診断と疾病分類		小松崎 大助
3	【講義】 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害		佐々木 はづき
4	【講義】 気分障害/神経症性障害・ストレス関連障害および身体表現性障害/精神作用物質使用による精神および行動の障害		小松崎 大助
5	【講義】 各段階で現れやすい精神障害・心的不調 ①知的障害・発達障害 ②周産期に現れやすい心的不調 ③適応障害 ④睡眠障害		小松崎 大助
6	【講義】 精神科での治療 ①精神療法 ②薬物療法		土屋 貴裕
7	【講義】 精神科での治療 ①電気痙攣療法 ②環境療法・社会療法		駒橋 徹
8	【試験】		大垣 芳之

テキスト	系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔1〕精神看護の基礎 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験：配点100点（駒橋先生：30点、小松崎先生：40点、佐々木先制：15点、土屋先生：15点）		
その他、受講生への要望など	事前学習を行い、全講義に積極的に参加してください。		

授業科目	精神看護支援論Ⅲ		
担当者名	大垣 芳之	実務経験	○
年次	2年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	精神疾患・病態論に基づいて精神看護に必要な疾病特性を理解し、精神の機能障害が及ぼす生活及び身体への影響について、強み（ストレングス）、回復（リカバリー）のプロセスを踏まえて、看護の視点から学ぶ。また、これまでの知識を統合し看護事例を紙面上で看護過程を展開することで精神看護学実習の基礎とする。		
授業科目の到達目標	1. 精神における治療場面での患者―看護師関係の持ち方、治療的関わりを形成するための対人関係の技術を説明する。 2. 場面の再構成を用いて自分の感情や思考を表現する方法を身につける。 3. 精神疾患の回復段階に応じた身体ケアと、精神科で行われることが多い日常的な身体ケアの実践を説明する。 4. 精神科の治療に伴う身体ケアについて説明する。 5. 精神科に多い身体合併症とその看護について説明する。 6. 神経伝達物質と精神機能(知覚・思考・感情・意欲等)の関係を説明する。 7. 心と体の関係を理解し、神経症・心身症・症候精神病等の看護の基本を説明する。 8. アルコール依存症等のアディクション関連疾患および看護の基本を説明する。 9. 生物学的・心理社会的な発達を理解し、発達障害に関する看護の基本を説明する。 10. 紙面上の患者の看護過程を展開し、精神で必要な観察と介入を学ぶ。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】ケアの人間関係 ①ケアの方法（演習） ②自分自身であること（演習） ③プロセスレコードの活用	プロセスレコード・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
2	【講義・演習】身体をケアする ①精神療法としての身体ケア ②フィジカルアセスメント	事前学習・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
3	【講義・演習】身体をケアする ①グループでケアを考える（フットケア、口腔ケア、排便ケア、睡眠ケア）	事前学習・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
4	【講義・演習】統合失調症と看護（急性期） ①グループでアセスメントを行い援助を考える	疾患の事前学習・ミニテスト・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
5	【講義・演習】統合失調症と看護（慢性期） ①グループでアセスメントを行い援助を考える	疾患の事前学習・ミニテスト・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
6	【講義・演習】気分障害をもつ人の看護 ①グループでアセスメントを行い援助を考える	疾患の事前学習・ミニテスト・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
7	【講義・演習】強迫性障害をもつ人の看護 ①グループでアセスメントを行い援助を考える	疾患の事前学習・ミニテスト・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
8	【講義・演習】摂食障害をもつ人の看護 ①グループでアセスメントを行い援助を考える	疾患の事前学習・ミニテスト・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
9	【講義・演習】パーソナリティ障害をもつ人の看護 ①グループでアセスメントを行い援助を考える	疾患の事前学習・ミニテスト・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
10	【講義・演習】アルコール依存症をもつ人の看護 ①グループでアセスメントを行い援助を考える	疾患の事前学習・ミニテスト・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
11	【講義・演習】発達障害（神経発達症）をもつ人の看護 ①グループでアセスメントを行い援助を考える	疾患の事前学習・ミニテスト・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
12	【講義・演習】看護過程 グループにて看護の展開を実施	疾患の事前学習・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
13	【講義・演習】看護過程 グループにて看護の展開を実施	疾患の事前学習・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
14	【講義・演習】看護過程 グループにて看護の展開を実施	疾患の事前学習・チームワークシート・講義終了後の振り返り	大垣 芳之
15	【講義・演習】まとめ・発表	レポート	大垣 芳之

テキスト	
参考書	
成績評価の方法	筆記試験（ミニテスト）40点、事前学習・チームワークシート20点、演習評価10点、振り返り10点、レポート20点
その他、受講生への要望など	本科目の単位取得は、シミュレーション演習とロールプレイングを行います。精神看護学実習に行くためのアセスメント、看護過程を実施していきます。単元ごとの完結編であるため、全講義、出席していくことが望ましい。また、単元ごとの事前学習、チームワークシート、講義終了後の振り返り、ミニテスト、看護過程の演習を評価に組み込んでいきます。

授業科目	看護の統合と実践Ⅰ		
担当者名	松井喜美代・藤田明美・高久由美子 渡邊美紀子	実務経験	○
年次	2年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	本講義では、医療安全の基本的概念と安全を守るための方法、感染管理認定看護師の役割と病院で行われる感染管理の実践を学ぶ。また、災害看護の基礎的内容を学習するとともに、演習を通して救護活動の実践について理解を深める。		
授業科目の到達目標	1. 医療事故と事故発生のメカニズムについて説明する。 2. 安全文化の情勢を考察することができる。 3. 看護における医療事故と安全対策について理解する。 4. 医療機関における感染管理認定看護師の役割を理解する。 5. 災害看護の基礎となる健康機器管理、災害の歴史、定義、種類、法律、制度について説明する。 6. 災害サイクル各期における特徴と健康問題、災害看護の役割と活動を説明する。 7. 災害看護活動の現場別の看護や対象に応じた看護がわかる。 8. トリアージ（一次トリアージ：START法）を実施できる。 9. 災害に関わる多くの職種間・組織間連携がわかる。 10. 災害時の被災者・支援者の身体反応と心理過程を理解する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】事故発生のメカニズム		松井 喜美代
2	【講義・演習】診療の補助の事故防止		松井 喜美代
3	【講義・演習】医療安全とコミュニケーション		松井 喜美代
4	【講義】看護師の労働安全上の事故防止		松井 喜美代
5	【講義】組織としての医療安全対策		松井 喜美代
6	【講義】国の医療安全への取り組み		松井 喜美代
7	【講義】医療機関における感染管理認定看護師の役割と活動の実践		藤田 明美
8	【講義】医療機関における感染管理認定看護師の役割と活動の実践		藤田 明美
9	【講義・演習】災害看護の概要/災害に関する法と制度		高久 由美子
10	【講義・演習】災害医療の基礎知識		高久 由美子
11	【講義・演習】災害各期の特徴		高久 由美子
12	【講義・演習】被災者特性に応じた災害看護の展開		高久 由美子
13	【講義・演習】災害とこころのケア		高久 由美子
14	【演習】トリアージ ※止血法の演習含む	演習 振り返りレポート	渡邊 美紀子
15	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践（2）医療安全 医学書院 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践（3）災害看護学・国際看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学（3）基礎看護技術Ⅱ 医学書院
参考書	適宜紹介する
成績評価の方法	配点：100点（松井先生：40点 高久先生：35点 藤田先生：15点 渡邊先生：10点）
その他、受講生への要望など	【医療安全】安全安楽は、医療全てにおいて関わる基本的な部分となります。他者への安全配慮はもちろんのこと、日々の業務や実習先でも必要となる知識です。確実に学び、身に付けることを目標にしています。 【災害看護】 多職種連携を含めた他学科（救急救命科）との大規模災害演習を予定しています。